

製品安全データシート

製品名：GT300NF

作成：2013年6月7日

1. 製品及び会社情報

製品名：GT300NF

製品コード：2424

会社名：旭エンジニアリング株式会社

住所：〒553-0002 大阪市福島区鷺洲4-4-3

担当部門：管理部

電話番号：06-6452-5811

FAX番号：06-6452-5770

緊急連絡先：旭エンジニアリング株式会社・営業部、管理部

緊急連絡電話番号：06-6452-5811

2. 危険有害性の要約

分類 非引火性のペースト状半固体

ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険

危険有害情報： 軽度の皮膚刺激
眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
反復使用蓄積すると有害
飲み込んだとき有害

環境に対する有害性： 水生生物に有害性がある
水中環境中で長期悪影響を引き起こすおそれがある
水生生物に毒性がある

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別・混合物

成分/含有量： ベンゼンアミン、スチレン化N-フェニール <2.5 %

CAS番号： 68442-68-2

化審法： データなし

PRT法： データなし

安衛法： データなし

EINECS： 272-485-3

成分/含有量 : アルキルジチオリン酸塩 <2.5 %
 CAS番号 : 68649-42-3
 化審法 : データなし
 PRT法 : データなし
 安衛法 : データなし
 EINECS : 272-028-3

成分/含有量 : 硫化オレフィン <2.5 %
 CAS番号 : -
 化審法 : -
 PRT法 : -
 安衛法 : -
 EINECS : -

4. 応急措置

| | |
|-----------|---|
| 吸入した場合 | 患者を新鮮な空気の場所に移し、安静、保温に努める。炎症や損傷がある場合は、医師の手当てを受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | 汚染した衣類を脱ぎ、直ちに触れた部位を多量の水と石鹼で洗い流す。高圧のオイル噴射に接触してしまった場合は、体内組織に浸透する恐れがあるので目視出来る傷がなくても医師の手当てを受ける。 |
| 眼に入った場合 | 直ちに弱い流水で15分以上洗眼する。まぶたを親指と人さし指で上げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。医師の手当てを受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | 吐き出させると二重に刺激・損傷を受けることになるので、嘔吐させない。医師の手当てを受ける。 |

5. 火災時の措置

| | |
|------|--|
| 消火方法 | 火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する。また延焼のおそれがないよう水スプレーで周囲のタンク、建物等の冷却をする。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸用保護具を着用する。 |
| 消火剤 | 二酸化炭素、粉末消火剤、水スプレー、耐アルコール泡消火剤などが有効である。強い流水は使用しないこと。 |

不完全燃焼や加熱分解により、一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素、アルデヒド、すす等の有毒ガスを放散する。吸入すると有害である。

6. 漏出時の措置

- ・作業の際には必ず保護具（無浸透性手袋、安全眼鏡等）を着用する。
- ・付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- ・少量の場合は、土砂等で吸着させて空容器に回収し、そのあとを多量の水で洗い流す。
- ・大量の場合は、漏洩した液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後、液の表面を泡等で覆い、できるだけ空容器に回収する。そのあとは多量の水を用いて洗い流す。
- ・液が河川等に排出されないように注意する。
- ・漏れ出た液で滑らない様に注意する

- ・公共用水や土壌の汚染を防ぐための適切な設備を整え、全ての必要な対策を取ること。
- ・汚染のリスクを最小限にするために漏出物が下水管に侵入するのを防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・広範囲を換気し、ガス、煙、霧の吸入を防ぐ。
- ・製品を含んだ雑巾や漏出物を吸収させた火災の原因となる物は、溜めずに使用后直ぐに排除すること。
- ・火災のリスクを減らすため、熱を帯びた覆いや電気の接続、製品のしぶきを避ける。
- ・眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
- ・容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加える、または引きずる等の乱暴な取扱いをしない。
- ・使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。
- ・作業中は飲食厳禁とし作業後は手を良く洗う事。

貯蔵

- ・容器は直射日光を避け、冷暗所に密閉して貯蔵する。(50℃以下)
- ・ボイラー等熱源付近や可燃物の近くに置かない。
- ・酸化性物質、有機過酸化物質、食品等と同一場所に置かない。
- ・耐炭化水素の容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

室内の取扱いは発生源の密閉化を行うか、又は局所排気装置を設置する。取扱い場所付近に安全シャワー、洗眼、うがい、手洗い装置を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具

特になし

目の保護具

ケミカルゴーグル

(液の飛散がある時は、さらに顔面覆いの防災面を着用)

皮膚及び身体の保護具

耐油性保護手袋、耐油性保護衣服、耐油性保護長靴、耐油性前掛け等

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|----------|---------------------------|
| 外 観 | 緑色ペースト状 |
| 臭 気 | 特有 |
| 滴下点 | >250 ℃ |
| 比 重 | 1080 (kg/m ³) |
| 引火点 | なし |
| 水溶解性 | 不溶 |
| NLGIグレード | 2 |

10. 安定性及び反応性

| | |
|---------|--------------------|
| 安定性 | 通常条件では安定。 |
| 避けるべき条件 | 熱・火気・スパークとの接触を避ける。 |
| 避けるべき物質 | 強酸化剤との接触を避ける。 |

1 1. 危険有害性情報

LD50： 経口 > 2000mg/kg (ラット)
経皮 > 2000mg/kg (ラビット)

有害性 飲み込んだとき有害。長期にわたる使用、または繰り返しの使用は、炎症を起こす可能性がある。

1 2. 環境影響情報

分解性 データなし

蓄積性 データなし

1 3. 廃棄上の注意

- ・ 廃棄は焼却により行う
- ・ これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄してから廃棄する。
- ・ 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
- ・ 投棄禁止

1 4. 輸送上の注意

- ・ 運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- ・ その他、法令の定めるところに従う。

1 5. 適用法令

- ・ 消防法 非危険物

1 6. その他の情報

本製品安全データシート (MSDS) は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDSの中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社はMSDS記載内容について充分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。